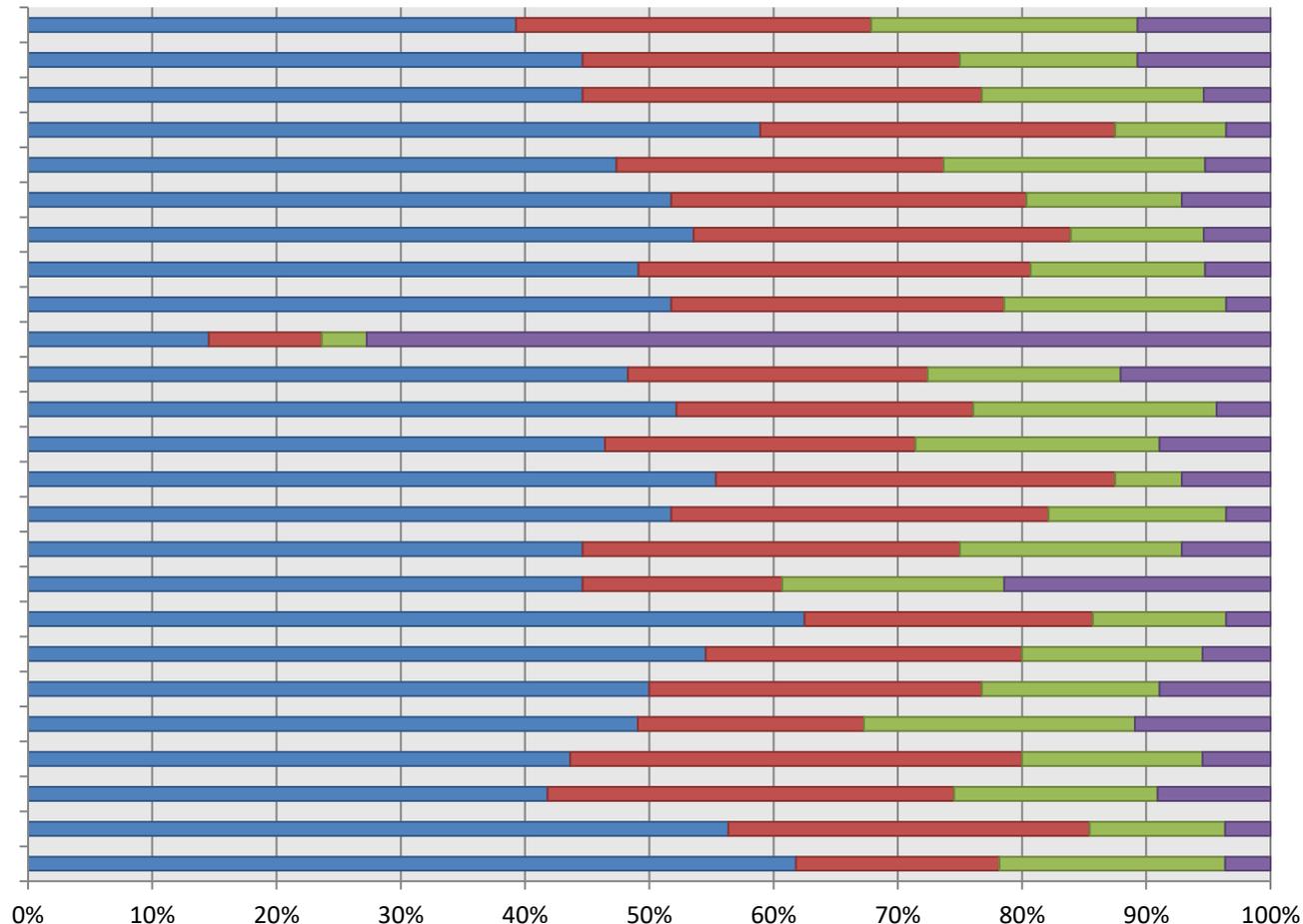


令和3年度学校教育診断 生徒アンケート集計

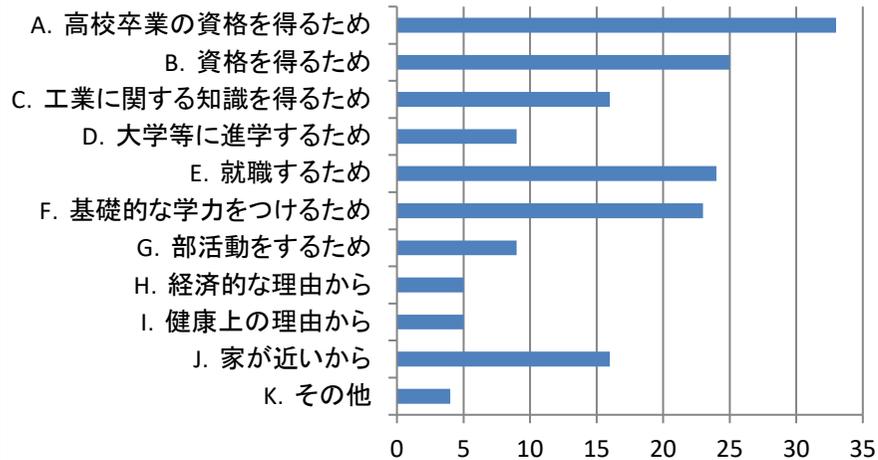
1. 次の設問の内容であてはまる箇所に○印をつけて下さい。

■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない

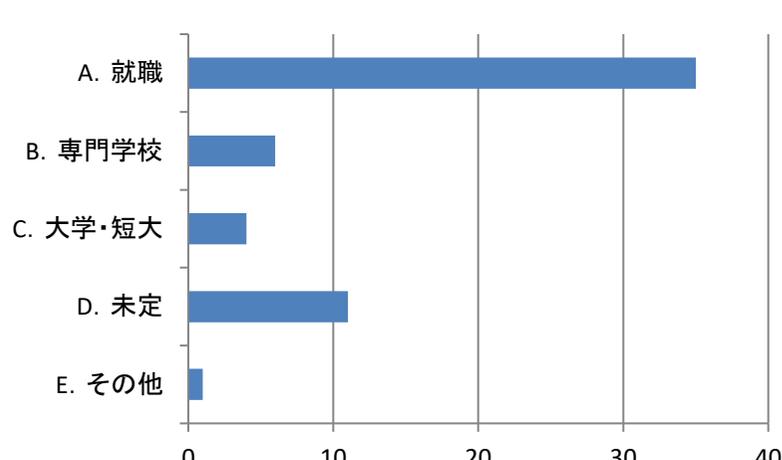
1. 学校へ行くのが楽しい。
2. この学校には、他の学校にない特色がある。
3. 総合学科について理解している。
4. 先生は自分たちの話をよく聞いてくれる。
5. 授業はわかりやすく楽しい。
6. 教え方を工夫している先生が多い。
7. 自分にあつた科目選択が可能である。
8. 学校生活についての先生の指導は理解できる。
9. 悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。
10. 入学後、いじめられた経験がある。
11. 先生は他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。
12. 先生はいろいろな問題を見逃さず対応してくれる。
13. 担任以外にも保健室や相談室等で気軽に相談することができる先生がいる。
14. 将来の進路や生き方について考える機会がある。
15. 学校は、進路について各学年に応じた指導をしている。
16. 学校行事(遠足、球技大会、文化祭)は、みんなが楽しく行えるよう工夫している。
17. 部活動に積極的に取り組んでいる。
18. 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い。
19. 人権の大切さについて学ぶ機会が多い。
20. 環境、国際理解、福祉ボランティアなどの課題について学習する機会が多い。
21. 堺の特産品・名産品について学んだり体験したりする機会が多い。
22. 学校で地震や火災などの災害がおこった場合、どのような行動をとればよいか知らされている。
23. 教室・特別教室・運動場などは、授業や生活がしやすいよう整備されている。
24. ビデオ、スライドなどの視聴覚機器やコンピュータなどを使う機会が多い。
25. 成績などの内容についてプライバシーが守られている。



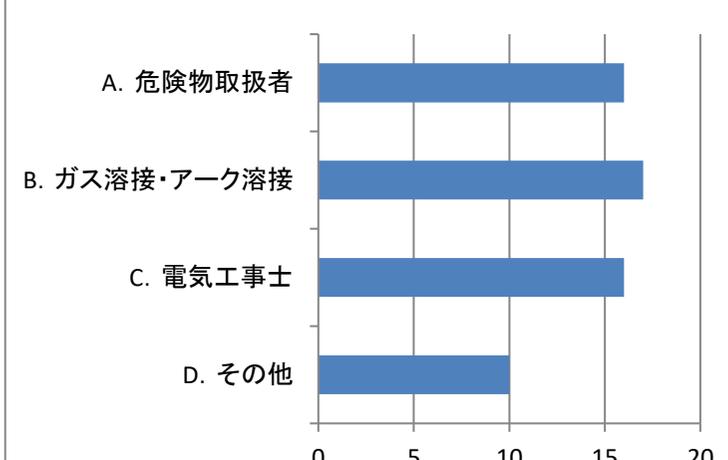
2. 本校を選んだ理由(複数回答可)



3. 卒業後希望する進路(複数回答可)



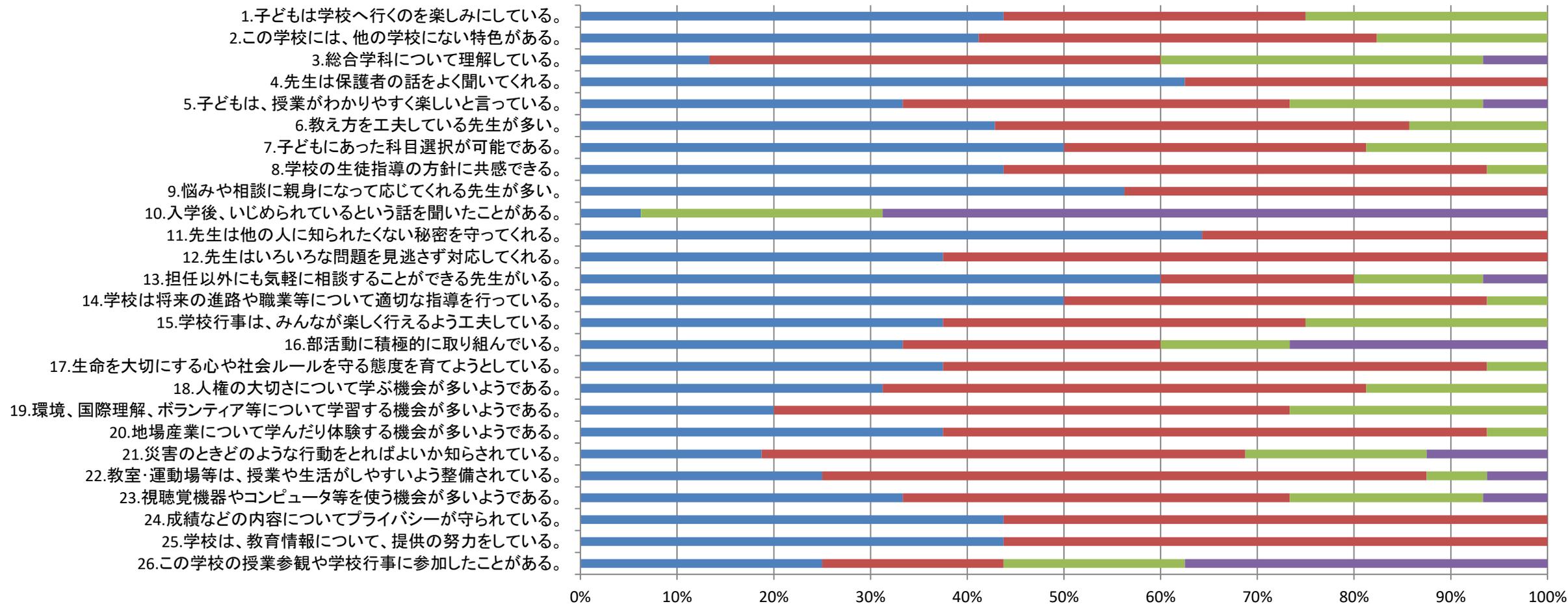
4. 取りたい資格(複数回答可)



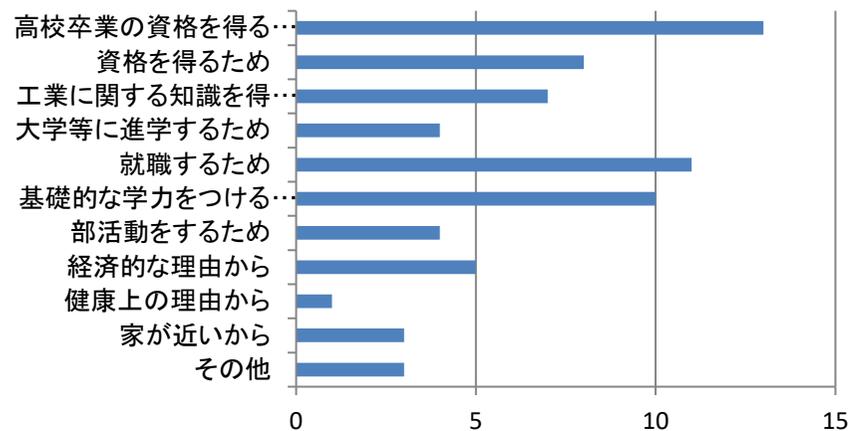
令和3年度学校教育診断 保護者アンケート集計

1. 次の設問の内容であてはまる箇所に○印をつけて下さい。

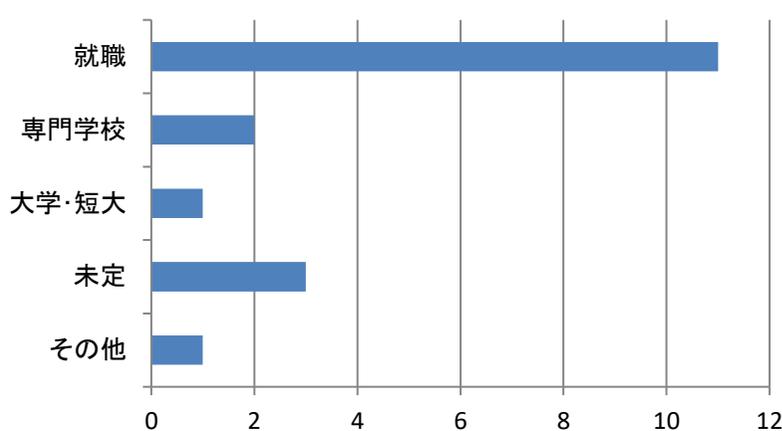
■ あてはまる ■ ややあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない



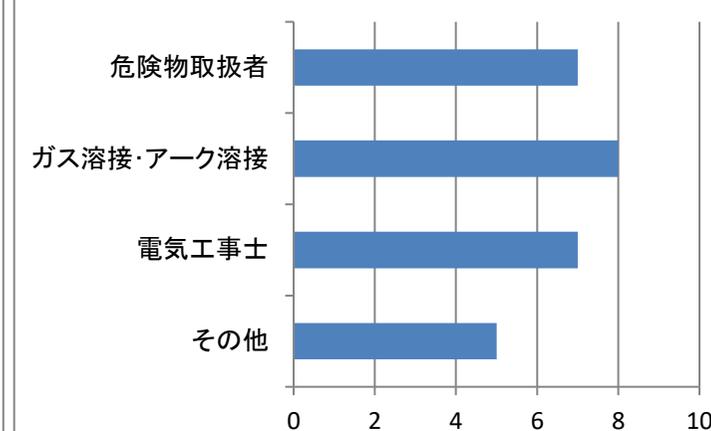
2. 本校を選んだ理由は何ですか？(複数回答可)



3. 卒業後希望する進路(複数回答可)



取得してほしい資格(複数回答可)



学校教育自己診断の結果と分析 [令和 3 年 12 月実施分]

① 教育活動全般に係る設問

「学校へ行くのが楽しい」の設問では、生徒の肯定値が今年度は 68%、令和 2 年度の 64%、令和元年度の 57%と比べ、2 年連続で増えている。生徒が有意義な学校生活を送っており、その環境を作っている教職員の努力も実っていると見える。

② 安全、安心

「人権の大切さについて」や「命の大切さや社会のルールについて」の設問では、保護者、生徒とともに肯定値が 80%を超えており、高い評価を得ている。また、保護者においては「成績などの内容についてプライバシーが守られている」で 100%の肯定値が得られている。今後も生徒の安全、安心に関する取組を継続させたい。

③ 生徒指導

「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」、「担任以外にも気軽に相談することができる先生がいる」という生徒に寄り添う指導において、生徒の肯定値は 79%、71%であり、保護者の肯定値は 100%、80%と高い評価を得ている。また、「学校生活についての先生の指導」についても生徒の肯定値は 81%、保護者の肯定値は 94%と理解を得ている。

④ 授業関係

生徒の回答より「授業はわかりやすく楽しい」の肯定値は 74%、「教え方を工夫している先生が多い」の肯定値は 80%と比較的高い評価である。また、教員の回答でも、「授業はわかりやすく楽しく進めている」、「教え方を工夫している」は肯定値が 100%である。生徒は楽しく授業を受け、教員がわかりやすい授業を工夫し、楽しく進めることで生徒からも高い評価を得ている。

⑤ 自己実現

生徒の自己実現のために全職員が注力した結果、進路指導について、生徒の「学校は進路について各学年に応じた指導をしている」は肯定値が 82%、保護者の「学校は将来の進路や職業等について適切な指導を行っている」の肯定値は 94%と高い評価を得ている。

⑥ ICT 活用

生徒の回答より「ビデオ、スライドなどの視聴覚機器やコンピュータなどを使う機会が多い」の肯定値は 86%と高い評価を得ている。今後も 1 人 1 台端末の活用等を推進していきたい。